

あさ吉夜話

■ 其の六

－ 弁天 －



弁財天

どうもこんにちは、桂あさ吉です。
今回のお題は「弁天」です。弁天の地名の由来は、あの七福神の弁天さんから来てるそうです。昔、度重なる水害に苦しんだ新田開発者市岡与左衛門が、その難を逃れようと水に縁のある弁天さんをまつりました。そのお社(やしろ)のあった土地が今の弁天です。
そこで、弁天さんが出てくる有名な小噺をご紹介します。

神さんや仏さんには、よくお使いというものがおります。使者ですね。弁天さんですとヘビ、大黒さんはネズミ、毘沙門天(びしゃもんてん)さんは百足(ムカデ)を使うそうです。

ある日、毘沙門天さんが弁天さんのところへ急な用事ができまして、手紙を一本渡したい。そこで、お使いの百足を呼びました。

毘沙門天－これ、百足。こっちへ来なさい。
百足－はい、ご用ですか。
毘沙門天－うん、この手紙を弁天さんの所へ持って行ってもらいたい。
百足－はい、かしこまりました。すぐに行きます。

1時間後に、毘沙門天さんが見えますと、百足が手紙を持ってまだゴソゴソしてる。

毘沙門天－これっ、百足。おまえ、まだ弁天さんの所へ行ってないんかいな。何をしてるねん！
百足－すみません。わらじをはいとりまんねん。



毘沙門天

おあとがよろしいようで。